

平成19年(2007年)新潟県中越沖地震に関する
緊急調査団の調査結果について(速報)平成19年7月17日
河川局防災課災害対策室

平成19年(2007年)新潟県中越沖地震により、各地で公共施設等に大きな被害が発生しています。今後、余震等により、再度大規模な被害が発生する可能性があることから、被災箇所の早期復旧に向けて、7月16日(火)から17日(水)にかけて緊急調査団の派遣を行いました。

調査の結果、河川堤防、港湾の岸壁背後および住宅地の地盤の一部で液状化現象が見られ、強い地震動による影響が伺われました。また国道8号(長岡市大積千本町)など大規模な被災箇所については、復旧工事における安全性確保に検討を要することが分かりました。さらに大破、倒壊した建築物は、主に土塗り壁を有するような比較的古い構法による住宅等であることに特徴がありました。

国土交通省は今回の調査結果を、今後の災害復旧や防災対策のために活用してゆく予定です。

①派遣先・日程等

調査概要：7月17日、新潟県内の各所管施設についてそれぞれ調査を実施。
(調査結果等については別紙)

②派遣メンバー

(団長)河川局	防災課	総括災害査定官	田上 澄雄 (たのうえ すみお)
	砂防部保全課	企画専門官	蒲原 潤一(かんばら じゅんいち)
道路局	国道・防災課	道路防災対策室長	梶原 康之 (かじわら やすゆき)
住宅局	建築指導課	企画専門官	安藤 恒次 (あんどう こうじ)
鉄道局	施設課	鉄道防災対策室長	新津 武史 (にいづ たけし)
港湾局	海岸・防災課	災害対策室長	戸谷 有一 (とや ゆういち)
気象庁	地震火山部地震津波監視課	調査官	白土 正明(しらと しょうめい)
国土技術政策総合研究所			
建築研究部基準認証システム研究室主任研究官		榎本 敬大 (つちもと たかひろ)	
(独)港湾空港技術研究所			
地盤・構造部構造振動研究室長		菅野 高弘 (すがの たかひろ)	
(独)建築研究所 構造研究グループ			
研究員		田尻 清太郎(たじり せいたろう)	

問い合わせ先

代表 03(5253)8111

全体・河川関係：

河川局防災課災害対策室	企画専門官 森 範行	(内線 35812)	直通 03(5253)8461
砂防関係	：河川局砂防部保全課 保全調整官 渡 正昭	(内線 36202)	直通 03(5253)8469
道路関係	：国道・防災課 企画専門官 大野 昌仁	(内線 37812)	直通 03(5253)8489
住宅関係	：住宅局建築指導課 企画専門官 安藤 恒次	(内線 39515)	直通 03(5253)8513
	国土技術政策総合研究所建築研究部基準認証システム研究室		
	主任研究官 榎本 敬大	直通 029(864)4396	
鉄道関係	：鉄道局施設課鉄道防災対策室 秋山 敬介	(内線 57858)	直通 03(5253)8555
港湾関係	：港湾局海岸・防災課 防災企画官 梅野 修一	(内線 46715)	直通 03(5253)8690
気象庁関係	：気象庁地震火山部地震津波監視課 課長補佐 若山		
		代表 03(3212)8341	(内線 4252)

国土交通省緊急調査団の調査結果について

全体・河川関係

【調査者】

(団長) 河川局防災課総括災害査定官 田上 澄雄

【調査箇所】

- ・蒲原大堰上流左岸（燕市道金）、大河津分水路右岸（燕市野中才）、信濃川本川左岸（長岡市町軽井：2箇所）、二級河川鯖石川左岸（柏崎市橋場町、柏崎市榎原町：3箇所）等

【調査結果概要】

- ・河川の被災形態としては、堤防天端等のクラックや沈下が多い。一部区間（信濃川本川左岸（長岡市町軽井）、鯖石川左岸（柏崎市橋場町））において液状化現象が見られたことが特徴。
- ・地方公共団体管理区間については、被害調査途上の段階であり、今回把握したもの以外にも被害がある模様。早急に全容把握の必要あり。
- ・海岸堤防の被災（堤防の沈下等）も確認した。



堤防川裏小段のクラック
信濃川本川左岸（長岡市町軽井）



堤防の沈下と液状化による噴砂跡
鯖石川左岸（柏崎市橋場町）

砂防関係

【調査者】

河川局砂防部保全課企画専門官 蒲原 潤一

【調査箇所】

- ・柏崎市内の青海川地区、笠島地区、聖ヶ鼻地区の土砂災害現場

【調査結果概要】

- ・新潟県より現況説明を受けた後、土砂災害発生箇所の現地調査を実施。以下について新潟県に助言を行った。
 - ・二次災害の防止
 - ・今後の降雨に対しての応急対策
 - ・早急な地域の安全確保
- (最新の土砂災害の発生状況については、<http://www.mlit.go.jp/river/sabo/>にて提供中)



道路関係

【調査者】

道路局国道・防災課道路防災対策室長 梶原 康之

【調査箇所】

- ・国道8号（国管理：長岡市大積千本町、上越市長浜付近）、国道352号（県管理：柏崎市大崎坂之下）、県道4箇所、他

【調査結果概要】

- ・被害状況は、斜面崩落や路面の陥没や亀裂がほとんどである。
- ・復旧に当たっては、小規模な被災箇所については、すでに通行を確保しているところもあるが、国道8号（長岡市大積千本町）については、本復旧に向け、今後、十分な地質調査が必要であるほか、大規模な被災箇所については、復旧工事中における安全性の確保が課題である。



国道8号長岡市大積千本町



国道352号柏崎市坂之下

住宅関係

【調査者】

住宅局建築指導課企画専門官 安藤 恒次

国土技術政策総合研究所 建築研究部基準認証システム研究室 主任研究官 槌本 敬大

（独）建築研究所 構造研究グループ 研究員 田尻 清太郎

【調査箇所】

- ・刈羽村刈羽、十日市、西元寺、井岡、西谷、大塚、新屋敷、上高町、並びに柏崎市土合、西中通駅付近、松美の国道113号線沿い、及び松波、東本町1～3丁目、西本町1、2丁目付近

【調査結果概要】

- ・大破、倒壊していた建築物は、主に土塗り壁を有するような比較的古い構法による住宅、倉庫、車庫、納屋の類、並びに店舗併用住宅であった。特に柏崎市東本町3丁目付近は、倒壊家屋が多く見られた。刈羽村刈羽、柏崎市西本町では、一部に液状化するなどの地盤の被害も見られた。
- ・また、非木造建築物の被害としては、鉄骨造建築物の一部に目視で判別できる程大きな残留変形を有する被害例、内外装材の崩壊等が確認されたほか、地盤の被害に伴う傾斜の残留などが確認された。また、柏崎市松波にあるゴミ焼却場では鉄筋コンクリート造の煙突の被害を確認した。



倒壊して道路交通を遮断した古い木造家屋



残留変形が大きい木造建築物



大きく傾いた鉄骨造建築物



損傷した鉄筋コンクリート

鉄道関係

<鉄道関係>

【調査者】

本省鉄道局 施設課 鉄道防災対策室長 新津 武史

【調査箇所】

J R 東日本・越後線・柏崎駅、^{かしわざき}信越本線・青海川駅、越後線・刈羽駅、^{かりわ}荒浜駅

【調査結果概要】

- ・柏崎駅において、列車の脱線状況、レールの変状等を確認した。
- ・青海川駅において、斜面からの土砂の流入状況、海側ホームの崩壊等を確認した。
- ・刈羽駅、荒浜駅において、ホームの変状、レールの変状等を確認した。



柏崎駅の列車脱線



青海川駅付近の土砂流入



荒浜駅付近のレールの変状

港湾関係

【調査者】

港湾局 海岸・防災課 災害対策室長 戸谷 有一
(独) 港湾空港技術研究所 地盤・構造部構造振動研究室長 菅野 高弘

【調査箇所】

柏崎港他

【調査結果概要】

- ・震源地に近い柏崎港では、ふ頭施設等が被災したものの、ふ頭施設は一部を除き供用されていた。
- ・今回の被災は、地震による大きな加速度を受け、岸壁背後が液状化し、泥水圧が岸壁に作用して海側へせり出し、エプロン部が沈下し、段差が発生したものと推察される。
- ・なお、柏崎港には海上保安庁と海上自衛隊の艦船が着岸し、また、海浜公園は自衛隊の災害派遣部隊の基地として利用されるなど、被災地の支援港としての役割を果たしている。国土交通省港湾局は港湾管理者の新潟県に対して、できる限り支援を行う。



気象庁

【調査者】

気象庁 地震火山部地震津波監視課 調査官 白土 正明 (しらと しょうめい)

【調査箇所】

- ・新潟県柏崎市西山町、刈羽村

【調査結果概要】

- ・震度6強を観測した刈羽村および柏崎市西山町の震度計の設置状況等を調査中である。